

「土呂久に集まれ!」新聞



令和7年度10月号(第6号)



GO_TO_TOROKU

Instagramもフォローしてね!!

発行 宮崎国際大学教育学部「土呂久に集まれ!プロジェクト」
(<https://sites.google.com/sedu.miu.ac.jp/torokuniatsumare/>)

作成 教育学部2年 学籍番号 20242011 橋本幸汰

みなさん、こんにちは!「土呂久に集まれ!」新聞です。朝夕はだいぶ涼しくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか?

今月の「土呂久に集まれ!」プロジェクトの活動を、紹介していきます。

「土呂久に集まれ!」プロジェクト中間報告会が無事開催されました!

2025年10月20日、チャレンジプロジェクト「土呂久に集まれ!」の中間報告会が開催されました。この報告会は、プロジェクトメンバーが前期約半年間の活動の軌跡と、その成果、そして後期に向けた具体的な活動計画を、指導教員や関係教職員の方々に詳細に説明し、貴重なご質問やご助言を賜るための重要な場となりました。

今年度の前期において、本プロジェクトは、地域との連携や企画運営の面で、予想外の様々な課題や困難に直面しながらも、熱意をもって活動を推進してきました。報告会では、今年度前期の新聞作成やマニュアル作成、インスタ広報等の反省点と具体的な成果についてデータを交えて報告しました。メンバー1人ひとりが、これらの活動を通じて得た教訓、そして克服してきた課題に対する真摯な姿勢を、先生方に伝えることができました。

報告の後半では、前期の反省を踏まえた後期活動の目標を明確にし、それを達成するための計画を発表することができました。



中間報告会に参加した岩切うらら(4年生)、森園恵実(2年生)、
舩永綾花(2年生)、國谷公平(3年生)、井野敏紀(4年生)、
プロジェクトリーダー工藤康太(2年生)



中間報告会に参加した橋本幸汰(2年生)、上床晃汰(3年生)、
濱口愛美(2年生)、岩切友敬(4年生)、濱砂剛志(2年生)、
坂本珀美(2年生)

この報告会には、プロジェクト指導教員に加え、多くの教職員の方々、さらには次年度以降のプロジェクト参加に関心を持つ1年生の学生も参加しました。報告後には、活発な質疑応答の時間が設けられ、「メンバー間での話し合いはどの程度行われているのか」や「当初設定した目的の達成進捗はどうか」といった多角的な視点からの質問や、今後の活動をより効果的にするための具体的な助言が惜しみなく交わされました。

メンバーの「土呂久に集まれ！」にかける真摯な思いと、プロジェクトの社会的意義が深く理解され、多くの先生方から温かい激励の言葉をいただきました。これらの建設的なフィードバックを受け、プロジェクトメンバー一同、後期に向けてさらなる決意を固めることができ、中間報告を無事、そして意義深く終えることができました。



中間報告会にお越しくださったマークウォーターフィールド先生、渡邊耕二先生、城戸佐智子先生、杉田康之先生、松田昭憲先生、早瀬博範先生、河原国男先生、田中優加さん（1年生）、油田みすずさん（1年生）

報告会后、私たちは教室に残り、直ちに反省会を行いました。これまでの活動を振り返り、これからの活動を見据えた話し合いを行うと同時に、「このメンバーで残り半年間、必ずやり遂げるぞ！」という決意を新たにすることができました。

本報告会を通して、リーダー工藤のプロジェクトに向けた熱い思いは、先生方だけでなくプロジェクトメンバーにも強く伝わりました。反省会の時のメンバーの目は、やる気に満ち溢れていました！きっとこのメンバーなら、後期も一丸となって頑張ってくれる、そう確信できた中間報告会でした。

後期も前期と同じように、全力で活動していきますので、引き続き「土呂久に集まれ！」プロジェクトを応援よろしくをお願いします！



反省会に参加している岩切友敬（4年生）、濱砂剛志（2年生）、橋本幸汰（2年生）、工藤康太（2年生）、上床晃汰（3年生）、濱口愛美（2年生）、岩切うらら（4年生）、井野敏紀（4年生）、舩永綾花（2年生）、坂本珀美（2年生）、森園恵実（2年生）、國谷公平（3年生）